はじめに

利賀村ではここ最近、涼しいを通り越して寒いと感じることが日に日に増えてきました。寒い日の夜はストーブの出番か！？と思うほどです。村内でも家の雪囲いが始まるなど、秋の山を楽しみながらも足早に迫りくる利賀の冬への準備が進んでいます。

留学生たちが育ててきたお米ですが、稲架掛け後、あまりいい天気が続かず一時はどうなることかとヒヤヒヤしていました。しかし、先日無事に脱穀の作業を終えることができました。また、そばやサツマイモなど秋の味覚の収穫も着々と進んでいます。ただでさえ美味しい秋の味覚ですが、自分たちで収穫したものはきっと一段と美味しく感じることでしょう。

11 月 19、20 日にはみらい留学の収穫祭が行われます。留学生にとっても、本番までに残された時間はいよいよ少なくなってきました。日々、太鼓の練習や個々の関心事を深める体験、それぞれの担当の準備など慌ただしく頑張っているようです。残された時間を大切に使いながら、収穫祭に来ていただく方々にそれぞれのベストの自分を見ていただけるように頑張ってほしいと思います。収穫祭は留学生にとって、ここまでの活動の集大成を発表する場です。利賀村で成長した子ども達の姿をたくさんの方に見ていただければ嬉しく思います。地域の皆様のご来園をお待ちしております。

長岡　悟

【 活動カレンダー 】

9月

２３日　稲刈り
２４日　ロンレー子ども村キャンプ
（ ～２５日 ）
２６日　ホームステイ入り

１０月

７日　センター入り
８日　畑作業、個人体験活動
９日　個人体験活動
１０日　個人体験活動
１５日　脱穀
１６日　個人体験活動

〒939-2516　富山県南砺市利賀村坂上 18　南砺利賀みらい留学センター
TEL：0763-77-4103　　FAX ： 0763-77-4037
MAIL：nanto-toga-mirai@p1.tst.ne.jp
WEB：http://www.nanto-toga.com/

9／23　稲刈り

センターの田んぼが実りの時を迎え、稲刈りを行いました。雨が降る中でしたが、他に日程が取れなかったため作業を決行しました。

大会前の中学生が部活に行っている午前中は小学生のみで作業。穂先に泥をつけないために、刈った稲はソリに乗せて運び出していきました。全体の 1/4 強を刈り終えたところで午前の作業を終えました。

午後は、中学生に加え地元児童生徒５名が作業に入ってくれました。雨脚は強まる一方でしたが、「ソリ運んでー！」「次こっちー！」と大きな声が響き渡り、皆懸命に作業に取り組んでいる様子でした。

３時間以上休みなしで全員が働き続け、なんとか作業を終えることができました。皆全身雨水と泥まみれで「こんなに大変な稲刈りはなかなか味わえるものじゃないね。」と笑い合いました。

去年、学校で稲刈りをしたとき地面が乾いていた。それが普通だと思う。しかし、全部が全部そうではないと、そのとき分かった。地面がぐちゃぐちゃの中、稲を刈った。みんながんばった。ぼくもがんばった。（ **尊人** ）

9／24・25　ロンレー子ども村キャンプ

夏場のキャンプの集大成ということで、利賀の森の中にあるロンレー子ども村へ行き、１泊２日のキャンプをしました。留学生のほか地元生も２名参加し、それぞれの計画に沿って食事作りやテント泊に取り組みました。一日目は少し雨も降り、「明日の分のマッチが…」と火起こしに苦戦する人が多かったですが、根気強く試行錯誤し、皆どうにか夕食にありついていました。夜には希望者でナイトハイクへ行き、星空も見ることができました。

翌日は気持ちの良い天気の中、前日の反省を生かしつつご飯づくり。朝食・昼食とも「フレンチトースト」「串焼き」「カレーライス」などバラエティに富んだメニューを完成させていました。一泊二日、たっぷりと自然の中で過ごし、最後にはテントや道具の片付けまでしっかりと行うことができました。

〈　日常の様子　〉

元気市にて、民謡発表！

収穫祭に向けて、
ドキドキの係決め…

センター近くに落ちて
しまったアオゲラを観察中。

拾った落ち穂を手作業で
脱穀し、もみすりにも挑戦。

10／15　脱穀

稲刈り後に天日での乾燥を終え、藁と籾を分離する、脱穀の作業を行いました。脱穀作業は時代によって様々な道具が編み出されており、その歴史の一部を体験しました。

最初に、足踏み脱穀機と唐箕による作業を行いました。途中、脱穀しきれなかった実は割り箸を使って籾をとっていきました。

１時間半ほど作業したのち、現代の機械であるコンバインを体験し、あまりの作業の早さに「やっぱり機械はすごい！」と圧倒されていました。

最終的に籾を袋に詰めて作業は終了。子どもたちの行う田の作業は、これで一区切りとなりました。

脱穀の作業は無心でできて楽しかったです。特に指で脱穀すると昔に戻った感じがしました。地元の子たちともお話ししながらみんなで協力できました。終わったときの達成感も凄くて、感動しました!!（ **柚月** ）

10／10・11　体験留学の様子

体験留学に４人の子どもたちが参加してくれました。最初は緊張していた４人でしたが、打ち解けてくると「利賀の学校は何人？」「夏は暑いの？」など留学生へたくさんの質問を投げかけていました。一緒にお風呂に入った留学生は、「タオルはここに置いて！」など山村留学の先輩として頼もしい姿を見せていました。翌日は利賀小中学校へ登校し、学校見学へ。地元の子どもたちとも交流を深めました。

～ 雑草のようにたくましく ～

１０/８　秋冬野菜の間引き、収穫（ピーマン・ヤーコン）
１０/１６　サツマイモ掘り

８ 日は、赤かぶや大根等の間引きをしました。種まきが ９ 月末になってしまったので、まだまだ小さな芽を「もったいない…」と言いながら抜いていました。寒くなってきたので、株がうまく成長するか心配しながら様子を見守っています。また、ヤーコンも初収穫しました。

16 日は、百瀬にある Ｙ 指導員の畑でさつま芋を掘りました。「大きい！」「こっちにもある！」と皆で次々に掘り上げていました。

保護者だより

山村留学センターの皆様、そしてホームステイなどで大変お世話になっている利賀村の皆様。日々、山村留学生を温かく見守ってくださり誠にありがとうございます。

早いもので、1 年間の入園生活の半分以上が過ぎました。この間、自然豊かな山村留学センターの環境の中で、たくさんの経験をさせていただいたせいか、里歩が夏休みに帰宅した際には、一回り逞しくなったように感じました。家では、畑づくりや川遊び、登山、そして学校生活のことなど、いっぱい話してくれました。里歩が、日々忙しいながらも、とても充実した山留生活を送っている様子がわかり安心しました。

さて、里歩は、平成 20 年 7 月に中家家の第 4 子として誕生しました。兄弟は 11 歳年上の長女安海、長男雄大、そして 7 歳年上の次女美空の 3 人です。良くも悪くも歳の離れた兄弟が 3 人いるので、里歩は様々な事を教えてもらったり、時には、兄弟を観察対象として、成長してきました。少し変わった所として、「習い事」が大好きで、水泳、英会話、習字などに挑戦してきました。また、小学 4 年、5 年生の夏休みにはとなみ野 100 キロウォークにも挑戦し完歩しました。そして、昨年末、冬の体験キャンプから帰って突然、「来年は利賀で、山村留学する！」と言い出しました。ビックリして「中学校どうするの？吹奏楽部は？」と家族会議です。しかし、本人の意志は固く、自分で考えて決定したことは実行する里歩なので、山村留学を認め、できるだけ協力することとしました。

これから、利賀は冬を迎え、積雪の季節となります。山留生たちにとって、登下校は大変になると思いますが、スキーや雪あそびといった楽しい体験もいっぱい待っています。里歩が 12 人の山留生の仲間たちとともに、自然豊かな利賀での山留生活を通して、どのような成長を遂げてくれるか、ワクワクしながら見守っていきたいと思います。

山留関係者の皆様、これからもよろしくお願いいたします。

くま爺のつぶやき・・・

育てる会が山村留学創設から今年で 47 年目になる。開始当初は、稲刈りが終わった田んぼで農家さんと子どもが収穫を祝い、ささやかな食事会を行った。四年目からは保護者も参加、収穫祭と称して子どもたちが体験発表を行った。この祭はやがて地元の方もお招きして二日間の日程で実施、今日では大きなイベントとなっている。利賀村では今年が二回目の収穫祭。子どもたちは、それぞれにテーマを決め、多忙な生活の中ではあるが体験発表にむけて、地域のみなさんに協力いただき取り組んでいる。この祭り一日目は体験発表、二日目は留学生と保護者が模擬店等で交流の場を設ける予定である。11 月 19～20 日、ぜひお出かけください。ところで近年、IQ（頭の知能）から EQ（心の知能）の時代といわれている。EQ が高い人は好奇心旺盛で努力家、コミュニケーション能力が高く、協調性があり、逆境に強いらしい。留学生は利賀村の恵まれた環境下で、心の知能を育ませてていただいている。深く感謝を申し上げる次第である。

統括主幹　山本光則